

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月18日

計画の名称	都市空間における防災性の向上と円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）									重点配分対象の該当			
交付対象	秋田県, 秋田市, 仙北市, 横手市												
計画の目標	整備計画を構成する要素事業において、歩道未設置の通学路における歩道整備、緊急輸送道路の橋梁耐震補強や無電柱化による防災対策などを行い、都市防災機能の向上を図るとともに、歩行者・自転車や車両等が円滑に通行できる都市空間を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,327	A	6,308	B	0	C	19	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.3	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
1	①災害時の輸送路・避難路となる緊急輸送道路の橋梁耐震化と無電柱化の整備率を向上 ①緊急輸送道路上にある橋梁耐震化と無電柱化の整備率を算出 (橋梁耐震化・無電柱化整備済み延長 (m)) / (緊急輸送道路の延長 (m)) × 100 (%)	25%	41%	41%
2	②安全に通行できる歩行空間確保率の向上 ②歩道未設置の通学路において、歩行空間が確保された延長の割合。有効幅員（2m以上）確保延長より算出 (歩行空間確保延長 (m)) / (整備計画区間全延長 (m)) × 100 (%)	34%	64%	85%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

案件番号： 0000211554

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	千秋広面線 (手形)	現道拡幅 L=0.5km	秋田市	■	■	■			1,650		策定済
		H29からP10へ移行																	
	A01-002	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	秋田環状線 (牛島駅前)	街路整備 L=0.7km	秋田市	■	■	■	■	■	1,691		策定済
	A01-003	街路	一般	仙北市	直接	仙北市	S街路	改築	岩瀬北野線	街路整備 L=0.5km	仙北市	■					122		—
		H27より社総交																	
	A01-004	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	久保田古館線	現道拡幅 L=0.2km	鹿角市	■	■	■			399		—
		H28完																	
	A01-005	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	中央線 (幸町)	現道拡幅 L=0.5km	横手市	■	■				443		—
H27完																			
A01-006	街路	一般	横手市	直接	横手市	S街路	改築	中央線 (本町)	街路整備 L=0.1km	横手市	■	■				126		—	
	H27完																		
A01-007	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	泉外旭川線	街路整備 L=0.6km	秋田市	■					210		—	
	H27より社総交																		
A01-008	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	外旭川新川線	街路整備 L=0.7km	秋田市	■					30		—	
	H27より社総交																		
A01-009	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	停車場栄町線	現道拡幅 L=0.4km	由利本荘市	■	■	■			837		—	
	H28補正からP10へ移行																		

案件番号： 0000211554

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		H26	H27				H28	H29	H30					
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-010	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	川尻広面線 (横町)	現道拡幅 L=0.2km	秋田市	■	■	■			440	—	
		H28補正からP10へ移行																	
	A01-011	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	新屋士崎線	現道拡幅 L=1.1km	秋田市		■	■			49	—	
		H29からP10へ移行																	
	A01-012	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	S街路	改築	千秋久保田町線	現道拡幅 L=0.1km	秋田市	■	■	■	■	■	311	—	
										小計						6,308			
										合計						6,308			

案件番号： 0000211554

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-002	街路	一般	仙北市	直接	仙北市	S街路	—	岩瀬北野線周辺環境整備	ポケットパークA=1,000m2	仙北市	■					4		—	
		街路整備によって生じる河川緑地との空地の高低差を解消し、歩道と併設したポケットパークを一体的に整備することで、歩行者に安らぎと潤いのある歩行空間を提供するとともに安全性を確保する。																		
	H27より社総交																			
	C01-003	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	計画調査	事業効果検証等	中間評価・終了評価	横手市ほか		■					10		—
当計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として、中間時・終了時の評価等を行うことで、事業のPDCAサイクルの実践を図る。																				
H27完了																				
C01-004	街路	一般	横手市	直接	横手市	S街路	—	中央線公園関連整備	ポケットパークA=128m2、市道整備 L=40m	横手市	■	■					5		—	
	中央線沿線のスペースを活用しポケットパークや周辺市道を整備することで、地域住民の憩いとコミュニケーションの空間を設け事業効果を高める。																			
H27完了																				
										小計							19			
										合計							19			

案件番号： 0000211554

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

秋田県建設部都市計画課で取りまとめを実施

事後評価の実施時期

令和元年度

公表の方法

事業主体のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

(都) 秋田環状線、(都) 久保田古館線、(都) 中央線(幸町)、(都) 中央線(本町)の現道拡幅により、歩道が整備され、通学路の歩行空間が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況(必要に応じて記述)

仙北市施行の(都) 岩瀬北野線が完成し、武家屋敷群(重要伝統的建造物群保存地区)から通過交通が排除・転換され、仙北市角館地区中心部の武家屋敷通が歩行者優先道となり、観光地を安心して散策できる環境になった。

○特記事項(今後の方針等)

引き続き、歩道設置による通学路の安全で快適な歩行空間を確保するとともに、緊急輸送道路の無電柱化を推進し、都市防災機能の向上を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	41%	本事業で取得した道路用地で埋蔵文化財の試掘調査を実施したところ、遺跡が発見され、記録を保存する発掘調査が必要となり、事業の進捗に遅れが生じた。
	最終実績値	28%	
2	最終目標値	85%	目標値と実績値の差なし
	最終実績値	85%	

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

